

左京西部

# いきいき通信

vol. 7

## 展示会



若者の悩み相談に地域のお年寄りが答えるという企画『おばあちゃんの喝!』の展示初日をフェスタと合わせてサロンでスタート。ふと時間が空いた時、ジッと見つめるおばあちゃんの姿が印象的でした。そして、たくさんの学生が展示を見ていましたよ。何を思ったのでしょうか?? (沢)

去る二月十日、高齢者ふれあいサロンにて「ようせい紙芝居フェスタ」というお祭りが開催されました。この企画は、当センターが「大学と連携したまちづくりプロジェクト」として地域の学生と協力して作り上げたものです。子どもも、大人も、おじいちゃんもおばあちゃんも、みんなが笑って、遊んで、踊った一日。果たして、どんな「お祭り」だったのでしょうか。その全貌をご紹介します。

## お祭り会場になった日のこと

サロンが一変!?

## 昔遊び・折り紙コーナー



「バイ（ベイゴマ）って、どう巻くの?」「紐濡らした方がいいねん。で、こう持ってな、捻って巻くねん。」「おう、できた。」若者とお年寄りが一緒にいろいろな昔あそびに興じました。折り紙コーナーも盛況でした。(梶川)

## 吹き矢コーナー



演芸大会が始まるまでは、センターで活動されている「吹き矢サークル」さんに、出張体験会をしてもらいました。大人も子供もお年寄りの皆さんも一緒に楽しみました。ある年配の方は、「目が悪くて飛んで行った矢が見えない。」と言っていたのですが、しっかりと真ん中に命中していましたよ! (山口)

## もちつき大会



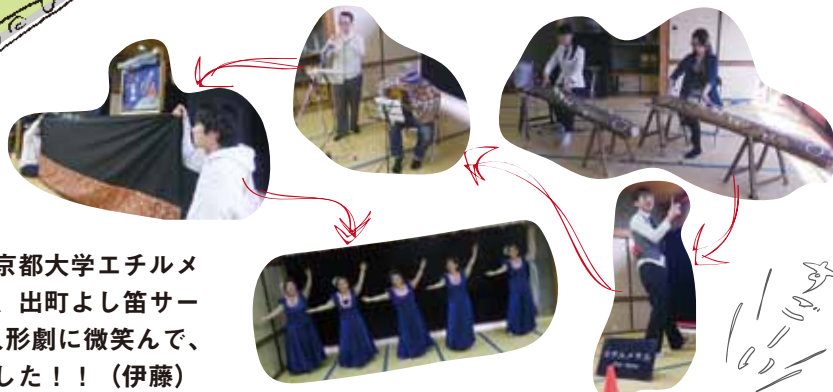
昨年大いに盛り上がった、餅つきを今回も行いました。私たちが不慣れな手つきでもたもたしていると、地元の皆さんが「かしてみ!」と取り仕切って下さいます。たくさんの学生さんが一生懸命杵をふるってくれました。(杉山)

## 盆踊り大会

イベントの締めは、盆踊りでした。地域の方が音頭を取ってくださって始まりました。最初は恥ずかしいながらも、みなさん楽しんで踊られていました。特に、外国の方が見よう見真似で踊っておられたのが印象的でした。(丸木)

## 演芸大会

立命館大学邦楽部の音に癒され、京都大学エチルメチルのジャグリングにドキドキし、出町よし笛サークルの音に和み、ふうせんのりの人形劇に微笑んで、フラマハナさんのフラダンスに涙した!! (伊藤)



お祭りの企画提案者  
森田 圭くん



現在、京都橋大学の2年生。  
将来は「旅行」に携わる仕事をしたいです!

今回、このお祭りを企画する上で一番の課題は、「地域を巻き込む」ということでした。普段は京都橋大学に通っているため、左京西部いきいき市民活動センターに来るのは毎週金曜日の午前中の数時間だけ。だからこそ僕は、できる限り高齢者ふれあいサロンやようせい喫茶に通う方々と直接お話をし、地域の人々との距離を縮めていくことを心がけました。そうした中で育まれたのが、この企画です。学生同士のつながりを活かした大学サークルや、このセンターを利用されている市民サークルの方々にご協力頂いた演芸大会。そして、地域の人々との直接的な交流を深めた昔遊びコーナーや餅つき大会。お祭り当日は多くの方の協力もあり、餅つきも途切れることなく行われ、地域の方による豚汁の振る舞いもありました。演芸大会や昔遊びコーナーも大変盛り上がりました。このイベントに協力して下さった地域の皆さん、いきセン職員の皆さん、学生の皆さん、本当にありがとうございました。

## 来場者からの声



10才・男子

もちつき大会があるからと言われ、家族で来た。吹き矢ともちつきが楽しかった。餅をついたけど杵が重かった。来年も来たいです。

職員の方から呼ばれてきました。ベリーグッド!みんなで食べたり作ったり。BGMの邦楽がとても良かった。

28才・男性



今年一番楽しかった。江州音頭が良かった。みんなで一緒におどれて最高やった。すぐにみんなも振りを覚えて、若い男の人にも輪の中に来てくれて良かった。いつ死んでもよろしい(笑)



86才・女性

昔は毎年、盆踊り、地藏盆もあった。今はないから。こういうのがいっぱいできたらいいなあ。足が痛くても少々体調が悪くても、昔を思い出して皆がおどる。毎年もっとおどりたいなあ。

85才・女性



# じちかい 自治会って なんだろう？

左京西部いきいき市民活動センターの周りで活動される、市民の取組みをインタビュー。  
今回は、センターの目の前にある「養正市営住宅12棟自治会」の活動をご紹介します。

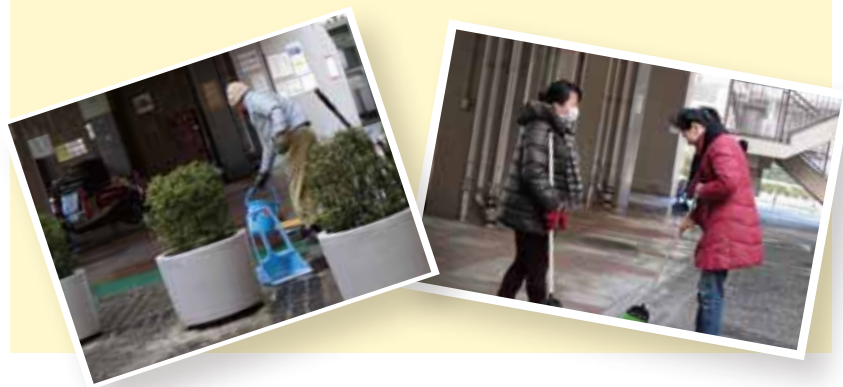
養正市営住宅12棟に自治会が発足したのは、昨年3月。きっかけとなったのは、7階住民の私的なつながりです。「暮らしやすい住宅」を目指して、個々が同じ意志のもと集まりました。今では会員は70世帯にも上り、12棟全世帯の80%以上に達します。

会長の唐橋佐江美さんは、17年間、一人で気付いた場所の掃除を続けてきました。自分が住んでいる場所を、自分で綺麗に！ひたむきに頑張る唐橋さんへの信頼は熱く、今では役員は毎週木曜日に朝掃除を実施、会員の方は第四日曜日に来て頂いているとのこと。一人の努力が、多くの人に種を蒔きました。

空き部屋も多く、独居高齢者も多い地域ですが、会長の唐橋さんは、世代を越えて誰もが交流できる場所を持ちたいと夢を語ります。「誰かが一人ぼっちで死ぬということは、自分が一人ぼっちで死ぬということ。うちが大事にしたいのは、『一人ぼっちで死なせない！』です。」

お話をお伺いして、自治の本来の姿を感じました。自分たちの住む地域の問題を自分たちで解決していくこと。当たり前だと言いつける人は、どれくらいいるのでしょうか。

(インタビュー：伊藤拓也／下記写真：朝掃除の様子)



こらむ。  
いきいき

センター長・杉山準の

先日、地域の(主に)高齢者と学生さんがふれあうイベントを行いました。普段お年寄りが集う高齢者ふれあいサロンに、今日ばかりは多くの学生や子どもが集まりました。大学のサークルなどによる余興や、餅つき、昔遊びなどで、若者と高齢者が交流し、大いに盛り上がることができました。若い人が集まると、活気が出ます。イベントの最後には高齢者も若者も一緒になって、地域のお年寄りがみな踊ることができる「江州音頭」を踊りました。センターの職員も学生さんも、たまたまやってきた外国人旅行者も、地元のおばさま方の振りを見ながら一緒に踊ります。そんな姿を見ていると、本物の盆踊りがこうした姿になって、多くの方々と楽しいひとときを分かち合えたらなんていいことだろう、と想像してしまいました。今日集った若い力が、地域のまちづくりの力になれば、そうなる日もそう遠くないことでしょう。

REPORT

## シニア向け演劇体験講座



1月30日から2月27日の毎週水曜日に、50歳以上を対象にした演劇体験講座を開催しました。演劇の練習を通じて、参加者の間に交流を生み、楽しみながら元気になることを目的とした事業です。普段しないような声を出したり、動きをしながら、それらがどのように舞台での演技につながるかを体験します。講座では自分の新たな面も見えたりして、新鮮な発見があったことでしょうか。自然と参加者同士の会話も生まれます。みなさんとても熱心に、そして意欲的にレッスンに取り組んで下さいました。初心者対象なので初歩的な内容を予定していましたが、みなさんの熱意と理解力は私たちの予想を越えるもので、経験者顔負けの高度なものに変わっていききました。「続けてほしい」の声も聞かれる、充実の5日間となりました。

## いきセン春のイベント内容

### ◎野菜市

恒例の『野菜市』が4月よりスタート。農家直送の旬の野菜をお届けします！

日時：毎月第2土曜日 10:00～12:00 (4月より開催予定・売切次第終了)  
場所：養正市営住宅9棟1階 田代書店の横

## 参加募集！ お申込み・詳細は当センターにお電話で！

### ◎「中学生のための演劇講座」

ゲームを使った方法で演劇を体験してみませんか？講師は現役の役者さん！

日時：3月23日(土)・24日(日) 10:00～12:00 (両日参加が好ましい)  
場所：左京西部いきいき市民活動センター・会議室2  
対象：中学生(4月に入学される方・3月で卒業される方でも可/経験不問)  
定員：12名  
料金：無料  
持ち物：動きやすい服装、筆記用具